

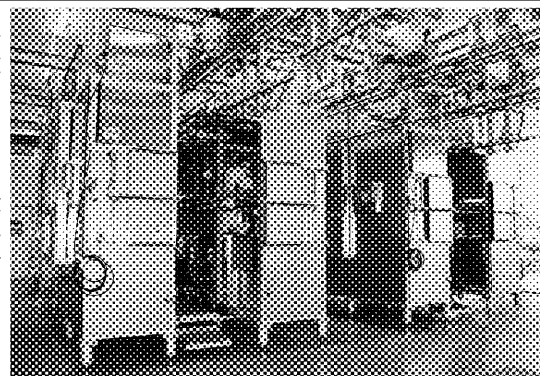
AIで食肉処理自動化

前川製作所 作業員1人に半減

前川製作所（東京都江東区、前川真社長）は、人工知能（AI）技術を用いて自動化率を向上させた豚大分割装置（写真）を商品化した。従来は計測と投入に1人ずつ、計2人の作業員が必要だったが、計測の自動化により、1人の作業員だけで、稼働した。

で済む。消費税抜きの本体価格は8000万円。今後5年間で食肉工場10カ所に導入を目指す。

食肉加工時の大分割工程は、人が刃物で枝肉を3分割する方法が主流となっている。前川製作所は2014年に豚大分割装置を開発し、刃物作業を自動化した。ただ従来機では、投入した枝肉の撮影画像に対して、人が枝肉の区割りに必要



な座標をその都度指示する必要があった。これに対して、今回

ラインに自動搬送するため、運ぶ手間を省くことができる。

の装置では深層学習（ディープラーニング）を用いた画像処理技術により、座標検知を自動化した。分割された腕・肩、ロースばら、もも部位を除骨